

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
102-214	高等学校	外国語科	英語コミュニケーション I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183 第一	CI 721	CREATIVE English Communication I		

1. 編修の基本方針

- (1) 音声、表現、文法などといった英語の言語知識や五つの領域の活動に役立つ知識を理解し、それらを実際の言語活動で活用できる技能を身につけられるようにした。
- (2) 各レッスンの題材は、知識として知っておきたい内容であるばかりでなく、豊かな思考力を育める内容とした。また、我が国および世界の文化への理解を促し、自分を取り巻く世界に広く目を向けることができるように留意した。
- (3) 各レッスンの題材内容の要点などを的確に理解し、理解した内容を活用して、表現したり伝え合ったりすることができるよう、五つの領域の言語活動およびそれらを統合した言語活動を豊富に提供する構成とした。
- (4) 英語と日本語の表現形式の違いなどに注意して、積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、これからの国際社会に生きる日本人として必要なコミュニケーション能力を養うことができるように配慮した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
題材／言語活動	① 高校生にとって身近で日常的な話題のみならず、知的で確かな教養を与える内容や知的好奇心を喚起する内容を中心とした。(第 1 号)	Lesson 1～9
	② 豊かな感性や道徳心が培われるよう、高校生の感性に訴えかけるストーリーを採録した。(第 1 号)	Optional Lesson
	③ 夢の実現に向かって自主的に努力するアスリートたちの姿を紹介し、生徒各自の夢の実現に向けてどのようなことをすべきかについて発信する。(第 2 号)	Lesson 1
	④ 戦時下にもかかわらず、自身の作品を守り、作品の出版にまで至ったクリエイターのストーリーを読み取る。(第 2 号)	Lesson 5
	⑤ 幸福とはどのようなことかに関する主張を読み取り、生徒自身の生活の中での幸福について考える。(第 2 号)	Lesson 6
	⑥ 被爆者としての道義的責任を感じながら活動している女性を取り上げた。(第 3 号)	Lesson 8
	⑦ 携帯電話や AI といった社会を豊かにしうるテクノロジーについて理解し、それらが未来において発展している姿について想像して表現する。(第 3 号)	Lesson 3・9
	⑧ 絶滅危惧動物の実態を知り、その保全に向けてできることを表現する。また、海洋プラスチック汚染のメカニズムについて理解し、汚染拡大を阻止するための対策を考える。(第 4 号)	Lesson 4・7
	⑨ 世界中に広まっている日本の「弁当文化」を掘り下げ、日本のさまざまな弁当について表現する。(第 5 号)	Lesson 2
	⑩ 第二次世界大戦や太平洋戦争の歴史を学び、平和についての生徒自身の考えを表現する。(第 5 号)	Lesson 5・8

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 本文への導入ページ，本文ページ，本文で学習した内容を深めるページ，学習をふり返るページという，一連の学習の流れをわかりやすくし，段階的に学習できるようにした。
- 各レッスンの冒頭にはレッスン全体の学習目標を，各パートにはパート別の学習目標を明示し，また，各レッスン末には学習目標をどの程度達成できたかを自己評価するページを設け，生徒の主体的な学びと学習意欲の継続に資するようにした。さらに，後見返しには教科書全体における五つの領域別の **CAN-DO** リストも設けている。
- どの領域の言語活動を行うかをわかりやすくするために，各言語活動には五つの領域別のアイコンを置いた。統合的な言語活動を行うことを想定した箇所には複数の領域のアイコンを設置している。各レッスンで五つの領域すべてを扱うことができるようにした。
- 言語活動を充実させるべく，五つの領域に関する言語活動においてポイントとなる内容をまとめた **Focus on Five Skill Areas** を設けた。
- 本文内容に関連した背景情報をまとめた特集ページ **Did You Know?** を設け，内容的に関連している他教科や **SDGs** を示した。英語の言語知識やコミュニケーション能力以外にも，さまざまな教養を涵養できるようにした。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
102-214	高等学校	外国語科	英語コミュニケーション I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183 第一	CI 721	CREATIVE English Communication I		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

編修の基本方針

- 何ができるようになるか、どのように学ぶかを明示し、主体的な学びを促進
 - ・どのような言語活動を行うかを含む学習目標を、各レッスンの冒頭と各パートなどに示し、主体的に学習に取り組めるようにした。
 - ・各レッスンで取り上げた題材は課題解決型の本文とし、レッスン末の Over to You はレッスン全体にかかわる課題を解決する言語活動である。
 - ・各レッスン末には学習目標をどの程度達成できたかをふり返り、自己評価するページを設け、生徒の主体的な学びと学習意欲の継続に資するようにした。
 - ・自己評価のページは、評価のアカウントビリティの担保にもなると期待した。
 - ・後見返しには、教科書全体における五つの領域別の CAN-DO リストも示した。
- 必然性のあるコミュニケーション場面における言語活動で、思考力や判断力を育成
 - ・「英語コミュニケーション I」の五つの領域別の目標を実現するために設定した言語活動に、領域別のアイコンを置くことで、目標と言語活動との関係を明示した。各レッスンで五つの領域すべてを扱うことができるようにした。
 - ・言語活動を充実させるべく、五つの領域に関する言語活動においてポイントとなる内容をまとめた Focus on Five Skill Areas を設けた。
 - ・Focus on Five Skill Areas は、日本語と英語の言語特性の違いなどといった「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を念頭にまとめた。
 - ・ブログなどのウェブサイトや広告など、高校生が実際の生活で直面するであろうコミュニケーション場面を多く設定し、必然性のある言語活動となるように配慮した。
 - ・各レッスン末の「本文の内容を比べよう」は、同じ論点について別の具体説明がなされている、あるいは、立場や論点が異なる複数のテキストを、やり取りによって読み比べて止揚させることを想定した活動であり、思考力や判断力が涵養されることを期待している。
- 音声、語、文法事項などの「知識」は「活用」することを重視
 - ・Sound Focus および Word Focus は、音声知識や語彙知識を実際に活用することを想定した記述となるように心がけた。
 - ・Focus on Language の Exercises は文法知識の活用を意識した問題も取り入れた。接続詞や前置詞については、それらを含む重要表現などを本文に出現させた。
 - ・巻末付録「発音してみよう」は各音素の知識の提示だけでなく、実際に発音してみる活動とした。
- 教科等横断的な視点に立った題材選定で、カリキュラム・マネジメントや ESD 教育に対応
 - ・教科学習と外国語学習を統合する CLIL (内容言語統合型学習) の考え方も背景に題材を選定した。
 - ・他教科で学習する内容を、複数のレッスンの題材として取り上げたことにより、各学校における教科横断・教科連携型の授業に対応できる。
 - ・本文内容に関連した背景情報をまとめた特集ページ Did You Know? に、関連している他教科を示し、教科横断・教科連携型授業において活用しやすいようにした。
 - ・関連教科とともに、関連する SDGs についても示した。現代の諸課題を認識し、対話的な言語活動などによって問題解決能力が育成されることを期待した。

本課の構成と特色

- (1) レッスン扉

- ・ **Get Ready** : 英語を聞き、聞いた英語と写真を参考にして、問いに対する自分自身の考えなどを話して伝え合う活動。
- ・ **Goals for Lesson 1** など : 「思考力・判断力・表現力」「知識・技能」「学びに向かう力・人間性の涵養」という観点別のレッスン全体の目標。

(2) Part 1

- ・ 冒頭 : 本文のテキストタイプ。
- ・ **Goals for Part 1** : 「思考力・判断力・表現力」の観点からの Part 1 の目標。
- ・ リード文 : コミュニケーションの場面の提示。
- ・ 本文 : さまざまなテキストタイプの本文を聞いたり読んだりする活動。聞く活動のSCRIPTには、語などの学習すべき言語材料が含まれているため、巻末の「SCRIPT集」にSCRIPTを掲載し、その内容をふり返りやすくさせた。
- ・ 脚注部 1 段目 : 新出単語と発音記号。CEFR-J Wordlist の A2 レベルの語は、表現活動でも積極的に用いたい「発信語彙」として赤字にし、他の語と区別した。また、国名などを除く固有名詞等も異なるフォントを用いて区別した。アクセントや発音に注意すべき語にはそれぞれマークを付した。
- ・ 脚注部 2 段目 : 重要表現と例文。
- ・ 脚注部 3 段目 : 文法事項の例文。
- ・ **Comprehension** : 聞いたり読んだりした本文内容をまとめ、それを伝える活動。
- ・ **Over to You** : 上でまとめた内容を活用して、自分自身の考えなどを表現する活動。

(3) Part 2~4

- ・ **Goals for Part 2** など : 「思考力・判断力・表現力」の観点からの各パートの目標。
- ・ リード文 : 本文の導入となる内容の提示。
- ・ 本文 : パラグラフの先頭に番号を付した。行間の「G-1」などは **Grammar** で取り上げた内容を、「FSA1」などは **Focus on Five Skill Areas** で取り上げた内容であることを示す。
- ・ 側注部 : 新出単語と発音記号。
- ・ **Sound Focus** : 新出単語の発音に関するコラム。
- ・ **Word Focus** : 新出単語の語彙情報に関するコラム。
- ・ **Now You Say It!** : 本文内容を参考にして、自分自身の考えなどを表現する活動。
- ・ **Q** : 各パラグラフの要点を確認する問題。
- ・ **T-F** : 本文の内容をリスニングによって確認する問題。
- ・ 脚注部 1 段目 : 重要表現と例文。
- ・ 脚注部 2 段目 : 文法事項の例文。

(4) Did You Know?

- ・ 本文を読んだり、表現活動をしたりする際に参考にしたい背景情報。
- ・ 内容的に関連している他教科やSDGsも提示。

(5) Make It Your Own!

- ・ **Goals for “Make It Your Own!”** : 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」の観点からの目標。
- ・ **Read Aloud Again** : **Focus on Five Skill Areas** で取り上げた英語の特徴などに注意して、Part 2~4の本文を音読する活動。
- ・ **Summarize** : Part 2~4の本文内容をまとめ、それを伝える活動。
- ・ **Retell** : 上でまとめた内容を活用して、本文内容を伝える活動。

(6) Activity Plus

- ・ Part 1と同じ構成であるが、各レッスンの学習を深めるページとして、**Over to You**の言語活動はレッスン全体を総括するような「レッスン課題」としている。

(7) Focus on Language

- ・ **Goal for “Focus on Language”** : 「知識・技能」の観点からの目標。
- ・ **Grammar** : 文法事項の説明と例文。
- ・ **Exercises** : A問は、整序作文や空所補充などによって、重要表現の理解を試す問題である。B問は、与えられた状況に適した英文を完成させる問題などで、文法知識を活用する練習としている。
- ・ **TRY** : 文法知識を活用して話したり書いたりする言語活動。

(8) Focus on Five Skill Areas

- ・ 五つの領域の活動に役立つ英語の特徴などをまとめたページ。
- ・ **TRY** : 英語の特徴などの知識を、練習問題を通して実際に活用する活動。
- ・ **Tips** : 本文のテキストタイプなどを解説したコラム。

(9) Reflect on Your Learning

- ・各パートなどの目標を，どの程度達成できたかを3段階で自己評価するためのページ。
- ・3段階での自己評価以外に，テキストタイプの特徴や言語活動において注意すべき点などについて，生徒自身でふり返って記入させる箇所も設けた。
- ・本文の内容を比べよう：各パートの本文と Activity Plus の本文を読み比べる活動。本文をふり返りながら，共通する点や異なる点などをやり取りによって確認する。

その他の特色

- 生徒の自学自習への配慮（二次元コードや URL から動画・音声の視聴が可能）
- カリキュラム・マネジメント対応（各パート1～2ページ構成で，組織的な授業計画が可能）
- 特別支援への目配り（学習内容を視覚的に示すアイコン，学習要素の提示方法や位置を基本的に固定）
- 中学校での学習からの円滑な接続（中学既習の文法事項も収録）

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
1. Lesson 1～9 ①Get Ready 写真を見ながら英語を聞く。その後，聞いた英語と写真を参考にして，問いに対する自分自身の考えなどを話して伝え合う活動。	2 内容 (2) ア, イ, ウ (3)① ア, イ, エ 3 内容の取扱い (1)	p.9, 25, 41, 57, 73, 89, 103, 119, 133	別表
②Part 1 (本文, Comprehension) Activity Plus (本文, Comprehension) さまざまなテキストタイプの本文から必要な情報を読み取り，要点をまとめる活動。また，まとめた内容を伝える活動。	2 内容 (1) イ (2) ア, イ (3)① ア, ウ (3)② ア, イ (別表参照) 3 内容の取扱い (1)	p.10-11, 26- 27, 36-37, 68- 69, 74-75, 98- 99, 104-105, 114-115, 120- 121, 144-145	
③Part 1 (本文, Comprehension) Activity Plus (本文, Comprehension) さまざまなテキストタイプの本文から必要な情報を聞き取ったり，読み取ったりし，要点をまとめる活動。また，まとめた内容を伝える活動。	2 内容 (1) イ (2) ア, イ (3)① ア, イ, ウ (3)② ア, イ (別表参照) 3 内容の取扱い (1)	p.20-21, 42- 43, 52-53, 58- 59, 84-85, 90- 91, 128-129, 134-135	
④Part 1 (Over to You) Activity Plus (Over to You) 本文を聞いたり読んだりして得られた情報を活用して，自分自身の考えなどを表現する活動。	2 内容 (2) イ, ウ (3)① オ, カ (3)② イ (別表参照) 3 内容の取扱い (1)	p.11, 21, 27, 37, 43, 53, 59, 69, 76- 77, 85, 91, 99, 105, 115, 121, 129, 135, 145	
⑤Part 2～4 (本文, 「Q」および「T-F」) 本文から必要な情報を読み取り，要点を把握する活動。	2 内容 (2) ア (3)① ア, ウ 3 内容の取扱い (1)	p.12-17, 28- 33, 44-49, 60- 65, 78-81, 92- 95, 106-111, 122-125, 136- 141	
⑥Part 2～4 (Now You Say It!) 本文を読んで得られた情報を活用して，自分自身の考えなどを表現する活動。	2 内容 (2) イ, ウ (3)① オ 3 内容の取扱い (1)	p.12-17, 28- 33, 44-49, 60- 65, 78-81, 92- 95, 106-111, 122-125, 136- 141	
⑦Part 1 (脚注部の語, 連語・慣用表現, 文構造・文法事項の例文)	2 内容 (1) ア, ウ, エ 3 内容の取扱い (2)	p.10-17, 20, 26-33, 36, 42- 49, 52, 58- 65, 68, 74-	

Part 2～4 (側注部の語, Sound Focus, Word Focus, 脚注部の連語・慣用表現, 文構造・文法事項の例文) Activity Plus (脚注部の語, 連語・慣用表現)		81, 84, 90-95, 98, 104-111, 114, 120-125, 128, 134-141, 144
⑧Make It Your Own! (Read Aloud Again) 英語の特徴などに注意しながら, Part 2～4の本文を音読する活動。	2 内容 (1) ア (3)② イ (別表参照)	p.18, 34, 50, 66, 82, 96, 112, 126, 142
⑨Make It Your Own! (Summarize, Retell) 本文の要点をまとめる活動。また, まとめた内容を伝える活動。	2 内容 (2) ア, イ (3)① ア, ウ 3 内容の取扱い (1)	p.19, 35, 51, 67, 83, 97, 113, 127, 143
⑩Focus on Language (Grammar, Exercises, TRY) 文構造・文法事項のまとめ。連語・慣用表現, 文構造・文法事項を活用する活動。	2 内容 (1) ウ, エ (別表参照) 3 内容の取扱い (2)	p.22, 38, 54, 70, 86, 100, 116, 130, 146
⑪Focus on Five Skill Areas 英語の特徴などのまとめと練習問題。	2 内容 (1) ア (別表参照) (3)① ア, イ, ウ, エ, オ, カ (3)② イ (別表参照) 3 内容の取扱い (1) (2)	p.6-8, 23, 39, 55, 71, 87, 101, 117, 131, 147
⑫Reflect on Your Learning (本文の内容を比べよう)	2 内容 (2) ア, イ, ウ (3)① ア, イ, ウ, エ	p.24, 40, 56, 72, 88, 102, 118, 132, 148
2. Optional Lesson ①Get Ready 写真を見ながら英語を聞く。その後, 聞いた英語と写真を参考にして, 問いに対する自分自身の考えなどを話して伝え合う活動。	2 内容 (2) ア, イ, ウ (3)① ア, イ, エ 3 内容の取扱い (1)	p.149
②Part 1～5 (本文, 「Q」および「T-F」) 本文から必要な情報を読み取り, 要点を把握する活動。	2 内容 (2) ア (3)① ア, ウ 3 内容の取扱い (1)	p.150-159
③Part 1～5 (Now You Say It!) 本文を読んで得られた情報を活用して, 自分自身の考えなどを表現する活動。	2 内容 (2) イ, ウ (3)① オ 3 内容の取扱い (1)	p.150-159
④Part 1～5 (側注部の語, Sound Focus, Word Focus, 脚注部の連語・慣用表現)	2 内容 (1) ア, ウ 3 内容の取扱い (2)	p.150-159
⑤Make It Your Own! (Read Aloud Again) ストーリーの展開に注意しながら, 本文を音読する活動。	2 内容 (1) ア	p.160-161
⑥Make It Your Own! (Summarize, Write) 本文の要点をまとめる活動。また, まとめた内容を伝える活動。	2 内容 (2) ア, イ (3)① ア, ウ 3 内容の取扱い (1)	p.162
3. 発音してみよう	2 内容 (1) ア	p.164-167
4. List of Phrases / List of Words	2 内容 (1) ウ	p.171-175

<別表> L : Lesson / OL : Optional Lesson / P : Part / AP : Activity Plus

課	タイトル 内容（関連教科など）	・文構造・文法事項 ・英語の特徴など	・テキストタイプ ・言語の働き	配当 時数
	Focus on Five Skill Areas 0	・コミュニケーション活動 のコツ	・相づちを打つ／聞き直す／ 共感する／驚く／質問する ／理由を述べる	1
L1	Achieving Your Dreams 夢の実現に関する大谷翔 平選手からのメッセージ	・to-不定詞 ・動名詞 ・日本語と英語の語順の違 い	・Website (P1) ・Website (AP) ・要約する／自己紹介する／ 説明する	8
L2	What Do You Eat for Lunch? 日本および世界の「弁当文 化」（家庭）	・現在完了形 ・分詞の形容詞用法 ・リズム・イントネーション	・Post on a Q&A Site (P1) ・Leaflet (AP) ・要約する／勧める／依頼す る／説明する	8
L3	The Evolution of the Cellphone 携帯電話の発展の歴史（情 報, SDGs）	・現在完了進行形 ・関係代名詞 ・意味のまとめ	・Presentation (P1) ・Presentation (AP) ・要約する／描写する／発表 する	8
L4	A Healthy Planet 絶滅危惧種の保護のあり 方（理科, SDGs）	・助動詞+be+過去分詞 ・It seems that ... ・ディスコースマーカ―・句 読法	・Notice / Announcement (P1) ・Poster (AP) ・要約する／説明する／理由 を述べる	8
L5	The Adventures of <i>Curious George's</i> Creators 『おさるのジョージ』の作 者の人生（地理歴史, SDGs）	・知覚動詞・使役動詞+O+ C（=原形不定詞） ・関係代名詞 what ・音の変化	・Website (P1) ・Interview (AP) ・要約する／描写する／説明 する／理由を述べる	8
L6	Messages about Happiness from Jose Mujica ホセ・ムヒカの幸福に関す るメッセージ（公民, SDGs）	・過去完了形 ・過去完了進行形 ・S+V+O（+O）（=疑問 詞節） ・考えや意図を伝える表現	・Poster Presentation (P1) ・Report (AP) ・要約する／説明する／主張 する	8
L7	To Stop Plastic Pollution 海洋プラスチック汚染の 実態（公民, 理科, SDGs）	・S+V+it+C+to-不定詞 ・関係副詞 ・パラグラフの構造	・Blog Post (P1) ・Website (AP) ・要約する／説明する／理由 を述べる／主張する	8
L8	Stories to Be Passed On 近藤紘子さんのストーリ ー（地理歴史, 公民, SDGs）	・仮定法過去 ・仮定法過去完了 ・キーワード・言い換え表現	・Poster (P1) ・Discussion (AP) ・要約する／主張する／理由 を述べる／定義する	8
L9	Will Human Beings and AI Go Hand in Hand? 将来の人間とAIのあるべ き姿（公民, 情報, SDGs）	・分詞構文（現在分詞） ・関係詞の非制限用法 ・事実や情報を伝える表現	・Advertisement / Announcement (P1) ・Notice (AP) ・要約する／説明する／描写 する／推論する	8
OL	The Safe 金庫破りをやめた主人公 が最後にとった行動とは		・Story (P1-5)	6
	発音してみよう			1
			計	80